

## [唐津市文化芸術振興計画（案）に対する住民からの意見と市の考え方]

	意見	市の考え方
1	<p>p.1 「文化芸術への関心が薄らぎ…」私もそのように感じます。コロナをきっかけにしてコンサートの配信など多様で手軽な鑑賞方法がひろがったこともあるかもしれません、劇場に出かけていく方とそうでない方の格差がひろがったと感じています。</p> <p>画面越しやイヤホンでの鑑賞は手軽になったかもしれません、生の芸術に触れる機会が激減していると感じています。</p> <p>旧唐津市民会館の閉館も影響しているかもしれません、生の芸術に関心がある人々は、今まで以上に佐賀市や福岡等の劇場へ出かけていかれているのではないでしょうか。</p> <p>交通手段や鑑賞費の兼ね合いから、なかなか出かけることができない方も唐津市内で満足のいく芸術に触れる機会をしかけることができないかと思っています。</p>	市民が日常的に文化芸術にふれられる施策の充実に努めます。
2	p.5 唐津くんちと浜崎祇園だけでなく、もぐら打ちやおんじゃおんじゃ、灰ふり祭りのような地域でのお祭りの写真も掲載していただきたいです	写真やレイアウトに関して更に検討を進め、他の写真なども掲載したいと思います。
3	p.9 このページの中に、「朝日町に唐津近松座という劇場が約100年前にあった」というような情報はいかがでしょうか。	劇場関係の記述については、文章の流れやバランスを考慮して判断したいと思います。
4	p.18 「その他の主な施設」唐津市文化体育館文化ホール（378席+車いす席5席）は追加できないでしょうか。	唐津市文化体育館文化ホールについても追加したいと思います。

	意見	市の考え方
5	<p>p.21「地域や学校でも文化芸術活動の減少や文化交流の停滞…」</p> <p>そのように感じています。また、コロナを境に学校行事の見直しなども大幅に行われているように感じています。</p> <p>学校行事の精選など、学校の事情によるものだと思いますが、例えば、「中学校文化発表会の内容の見直し」があります。生の演劇を鑑賞することはなかなかできないけど、文化発表会での生徒たちによる演劇で少しでも鑑賞してほしいといった取り組みが減ってきているようです。</p> <p>そうであれば、小中学校の体育館や新唐津市民会館で芸術に触れる機会をしかけていかないと、特定の興味をもたれている方だけとなってしまうのだと思います。「このような文化芸術があるのだ」ということをしかけていく必要があると思います。</p>	基本目標1のとおり、誰もが文化芸術にふれる機会の充実に努めます。
6	p.26「劇場やホールに行って鑑賞・観劇すること」がとても少ないと感じました。コロナで機会を失ったこともあるかもしれません。	基本目標1のとおり、誰もが文化芸術にふれる機会の充実に努めます。
7	p.27の結果をみて、興味をもっていただけるイベントの開催などだけでなく、イベント情報の流し方などにも工夫が必要だと感じました。	基本目標4のとおり、多様なツールを活用した情報発信の強化に努めます。
8	<p>p.28「鑑賞してみたいジャンル」の数値の高い方から「映像」や「特になし」という回答はある意味残念です。</p> <p>その反面、「重要だと思うことは」、「〇〇する機会を増やす」ということなので、鑑賞の場を欲しているのだと感じ、安堵しました。</p>	基本目標1のとおり、誰もが文化芸術にふれる機会の充実に努めます。
9	<p>p.29「Wi-Fiの整備や…」について、公共施設でもフリーWi-Fiの環境整備が求められているのだと思います。</p> <p>若者にも、学習スペースなどに新市民会館に出入りしてもらうことは大賛</p>	新しい唐津市民会館は、目指すべき将来像として「日常的に多くの人々が集い 交流が生まれる 文化芸術の創造発信地」を掲げています。

	意見	市の考え方
	<p>成です。</p> <p>ただ、Wi-Fi 目当てでのたまり場的な環境にはなってほしくないとも思います。</p> <p>商業施設であれば、フリーWi-Fi も集客の一つかもしれません、新市民会館の在り方を検討していく必要があると思います。</p>	<p>このため、多くの若者が集うきっかけとしてのフリーWi-Fi の活用を予定しています。</p> <p>ご懸念の点につきましては、施設運用において十分に注意してまいります。</p>
10	唐津市が様々な文化芸術で交流できる町に成長していくことを願っています。	「文化芸術の気風が息づく活気あるまち」を目指し、文化芸術振興に取り組んでまいります。
11	文化芸術事業への公的支援については、従来の社会的費用という考え方で支援が続いてきたと思う。その考え方から社会的必要性に基づく戦略的投資として捉え考え直すのはどうだろうか。	<p>文化芸術事業は、具体的な成果が捉えにくいものではありますが、私たちの生活や生き方に「豊かさ」と「アイデンティティ」を与えてくれるものだと考えています。</p> <p>文化芸術振興のため、今後の参考にさせていただきます。</p>
12	<p>文化芸術振興に関する政策目標が曖昧で、これまで総合計画の中に文化政策が明確に位置づけられていなかったように感じる。</p> <p>本計画案では、文化芸術振興に対して政策目標が明確化されることに期待し、施策が実践されることをのぞむ。</p>	<p>令和7年3月に策定した第3次唐津市総合計画において、「文化芸術活動の振興」を基本施策の一つに位置付けています。</p> <p>そのことを踏まえ、本計画はこれまで以上に文化芸術振興のための多様な事業を展開していく上で方向性を示すこと目的としています。</p> <p>計画で定めた目標に沿った施策を実践してまいります。</p>
13	<p>p.35 第3章基本目標1 誰もが文化芸術にふれる機会の充実の部分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●既存の文化団体に関する課題について</li> </ul> <p>文化芸術活動団体の活動や組織の体制は先細りの状況。既存の活動団体に所属している人たちは、60代～70代のコア層が、ほとんどで、活動も固定</p>	<p>ご指摘のとおり、少子高齢化は文化芸術分野でも大きな課題だと捉えています。</p> <p>若い世代に文化芸術に関する興味をもたせる施策を進める中で、既存の文化団体との関りをどのように構築していくか検討していきます。</p>

	意見	市の考え方
	<p>され活動も広がりがない。新規加入者もほぼいない。</p> <p>若い世代との価値観のギャップもあり、若い世代は、既存の団体に入り、活動するまでの理解・協力を得るのは難しい状況である。世代間のギャップの溝を埋めるのは課題である。</p>	
14	<p>p.35 第3章基本目標2地域の多様性を守るために活動支援、基本目標3文化芸術活動を起点とした他分野連携の部分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●活動を主導・支援する人材の発掘・育成に関する課題について</li> </ul> <p>主体的に住民が文化芸術活動を活性化していくためには、活動を主導・支援していくことができる人材が必要である。人材発掘については、実効性や継続性を持った仕組みづくりをしていくには地域での人材発掘をするのか、または他から人材を呼ぶのかについては、地域性も含し考えると難しい問題である。</p>	<p>市としても地域での人材発掘・人材育成が、文化芸術振興の重要な視点だと考えています。</p> <p>貴重なご意見ありがとうございました。</p>
15	<p>p.36 第4章 施策の展開の部分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●本市の行政体制に関する課題について</li> </ul> <p>文化芸術事業分野の拡大を考慮すると、限られた職員数で、文化事業も幅広い。</p> <p>現在の体制で事業を維持するのも難しく、今後職員数削減となると事業を維持していくのはたいへんになるのではないか?</p>	<p>限られた人員ではありますが、最大の効果が出せるよう努力してまいります。</p>
16	<p>他部署、他分野との連携は重要である。横のつながりを大切にして知恵を出し合うことが必要。</p>	<p>各分野の連携に努めます。</p>

	意見	市の考え方
17	<p>行政組織の制約については、個人の思いだけでは、事業は進めることはできない。人事異動があり、属人的なマンパワーを頼りにするだけでは、継続性がのぞめないのでないのか?</p> <p>文化行政組織における専門性の不足、専門的な知識・経験を積んだ人材が必要である。適材適所の人事配置も考慮していく。</p> <p>効率性を優先するのではなく、長期的視点やアウトカムを視野に入れた政策を考えるべきである。</p>	文化芸術振興計画を基に長期的視点により施策を実施するよう努めます。
18	<p>●解決・改善に向けて</p> <p>行政の観点からは、これまでの従来の文化芸術振興の枠組みに捉われることのないまちづくり・観光・福祉・教育などの他分野との連携を密にする。</p> <p>そのためには、柔軟な思考、包括的な視点、積極性、実行力が必要であると考える。</p>	文化芸術を起点とした多種多様な分野との連携を展開していきます。
19	<p>文化芸術活動の主体はあくまでも地域住民であり、行政側の立場としては、行政としての想いや施策を伝えるため、対話を重ね、住民の理解・共感などを獲得したうえで支援する。文化芸術活動団体などへの支援仕組み、対象範囲、支援内容の見直しを行なうべきである。</p> <p>今後、本市の市民センターのあり方と公民館機能などに変化が生じてくると考える。そのことも考慮して政策を進めないといけないのでないのか?</p>	地域住民が主体的に文化芸術活動に取り組むための行政支援のあり方については、引き続き検討していきます。
20	<p>まちづくりには、文化は欠かせない。文化とまちづくりの一体化の運営は、有効な方法となるのではないのか?</p> <p>実行性を伴う各分野との連携を実現するためには、計画、条例、予算編成、事業監査などの唐津市の行政全体を捉え、ルールや枠組みにおいて、文化芸術の活用を取り入れていく仕組み、仕掛けづくりが必要であると考える。</p>	市としても活気あるまちづくりには、文化芸術の振興が重要であると考えており、今後の参考にさせて頂きます。

	意見	市の考え方
21	<p>伝統的・民族的な文化芸術の継承については、その地域で行われてきた伝統的文化、たとえば地域の「石室猪ノ子祭り大綱引き」は、400年継承されてきたが、高齢化、少子化などの理由で継承も本年で断念しなければならなくなつた。</p> <p>文化継承がされなくなると、当然、その地域も伝統的・民族的な文化芸術も疲弊してくると思われるし、歴史も幕を閉じる。他地区との協力、支援仕組みなど新たな手法による仕掛けづくりを再考することで、まつりも再興できないものか? 他地区的浮立などについても同じ考えである。</p> <p>第3章の基本目標4多様なツールを活用した情報発信の強化で、(2)郷土伝統の文化芸術情報の集約を図る施策、(3)郷土伝統行事の周知を図る施策を進めてほしいと考える。</p>	<p>まつりの再興については、まつりに対する地域の考え方があるため、必ずしも他地区からの支援だけでは解決しない課題もあると考えています。</p> <p>このため、伝統行事が途絶えることなく継承されていくことが重要であり、そのために多くの人に伝統行事を知つてもらう施策にも取り組んでいきます。</p>
22	<p>▼第4章施策展開の基本目標2地域の多様性を守るために活動支援の部分</p> <p>●地域に根差した文化芸術に関する資源の発掘、保護、活用について</p> <p>本市には、唐津焼という素晴らしい伝統芸術が存在している。かつて、江戸時代に唐津藩内でも盆栽が流行っていた。盆栽は、高値で取引されており、盆栽は、芸術文化の一つであった。</p> <p>そう考えると、唐津焼と地元の山野草や松などの現代のコラボもおもしろいと思う。</p> <p>ちなみに、唐津は戦争中、空襲に遭わなかつた地域だ。長年、旧家の庭には、数百年前から引き継がれてきている植物も存在している。城内地区の笹の生垣もそのひとつだ。</p> <p>地元の資源を見直し、発掘し活用していくことで世界でも広がつてゐる盆栽文化の振興、発信にもつながると考</p>	<p>唐津焼は、本市が誇る伝統芸術であり、文化芸術振興における連携に関しては、今後の参考にさせて頂きます。</p>

	意見	市の考え方
	える。盆栽の技術・継承は、各地区に盆栽会があり、活動をされている。次世代への継承は、課題である。	
23	<p>人形文化については、近松門左衛門と唐津は所縁がある。近松寺には、近松門左衛門が、幼少期に学んだという話もあり、遺髪塚も存在している。近松門左衛門といえば、人形淨瑠璃脚本をいくつも残している。</p> <p>なお、唐津市にも人形淨瑠璃保存会があり、現在活動されている。保存会の方たちは、小学校に出向かれ、子どもたちに人形淨瑠璃を継承されている。</p> <p>このような地元と縁のある近松門左衛門と人形淨瑠璃、子どもたちへの文化芸術活動は、少しずつ継承され育まれている。次世代への継承は課題であり、学校教育との連携は必要となってくるのではないか?</p>	基本目標3のとおり、文化芸術活動を起点とした他分野連携が重要であり、若い世代へのアプローチには教育分野との連携が欠かせないと考えています。
24	<p>本市の旧郡部の山林には、楮(こうぞ)、ミツマタ、桑、櫨(はぜ)の木が、今も多く存在している。</p> <p>それはなぜか?楮、ミツマタは、紙として用いられ、桑は、蚕の餌となり蚕を育て、その糸から自ら絹織物を生み出していた。「手前織」と呼ばれ、今でも唐津市内のある家には、150年前の祖母が織った手前織の着物が代々伝えられ、それを着用されている方もいる。それも一つの継承されてきた文化といえよう。</p> <p>また、櫨の木から蝋燭を作っていた。これらの作業は、昭和中期ごろまで唐津の農家などでは続いていた。時代の流れで、蝋燭づくりは途絶えてしまったが、蝋燭は、日常生活のほかにも一つの工芸品として捉えられてもよいのではないのか?</p> <p>足元からの文化、芸術を発掘し、見直すこと「温故知新」も必要だと考える。</p>	ご指摘のように、本市には今は途絶えてしまった文化・芸術もあると思われます。「本市の歴史と文化」の中で、そのすべてを取り上げることはできませんが、地域が持つ魅力を再発見するという観点を大切にしてまいります。

	意見	市の考え方
25	<p>唐津市は、歴史的にみても華道・茶道・能の文化が育まれてきた地域である。武家文化の伝承に加え、経済的に大きく支えてきた町民文化(唐津くんちなど)が融合していると思われる。</p> <p>P37 基本目標 2 地域の多様性を守るための活動支援の施策を推し進めてほしい。</p>	基本目標2のとおり、地域の多様性を守るための活動支援に努めます。
26	<p>p.38 基本目標 3 文化芸術活動を起点とした他分野との連携の部分</p> <p>本計画案 p.31 の中で、中学・高校生のアンケート意見にもあったが、「唐津市肥前文化会館の早春コンサートに出演した経験があり、出演者としてステージに立ったことで、見える景色が大きく変わった。」とのコメントがあった。</p> <p>市町村合併前から肥前町の4つの学校の小学生が、京都フィルハーモニー室内合奏団のプロの演奏をバックに歌を歌っていた。また、京都フィルハーモニー室内合奏団のメンバーは、肥前町を訪問し詞と曲を作り「笑顔のまち肥前町」という曲を提供。サビの部分には、納所くんちの囃子も盛り込まれ、その曲を肥前町内の子どもたち全員が、合唱していた。</p> <p>合併後の数年は、コンサートは続いていたが、補助金や支援もなくなり消滅した。また納所小・田野小・切木小は閉校となり、今は肥前小1つの学校となつたが。プロの楽団が、楽曲を提供し、子どもたちとコラボし、長年音楽交流を深めていた実績は、全国的にみても稀なケースであった。途切れることは実に残念ではある。</p> <p>今後は、いろいろな施策において、人や縁をだいじにした施策を展開してほしいと望む。</p>	今後の参考にさせて頂きます。

	意見	市の考え方
27	<p>学習指導要領の改訂により子どもたちの豊かな感性や創造性、社会課題の解決につながる資質・能力を育むことが求められている。なお一層学校等との連携を密にした文化芸術教育の育成に努めてほしい。</p> <p>文化芸術の次世代の継承とともに、新しい産業を生み出す可能性にもつながることを期待したい。</p>	<p>基本目標3のとおり、文化芸術活動を起点とした他分野連携に努めます。</p>
28	<p>自然に恵まれ、ロケーションも最高の唐津。映画、アニメのロケにも適地である。映像の分野、音楽分野とのコラボなど可能性はこれからも広がると思う。</p> <p>障がいのある画家さんも唐津に移住され、作品づくりに励まれており、海外の作品展にも作品を出されている。唐津の地で描かれた作品が、世界にも広がるのは夢があると思う。</p> <p>人を大切にし、住みやすい環境であることから、よい芸術作品も生み出されていると感じる。</p> <p>障がいのある・なしに関わらず、第3次唐津市総合計画のめざすまちの姿「魅力ある自然・歴史・文化にあふれた 住みたい 訪れたい 選ばれるまち唐津」の実現に向け、本計画案を進めてほしいと考える。</p>	<p>市としても、誰ひとり取り残さない文化芸術施策を展開してまいりたいと考えております。</p> <p>貴重なご意見ありがとうございました。</p>
29	数値目標が50%と掲げてあるが、現状値が記載されておらず、目標が適当か判断できない。	現状値について記載します。
30	p.35 期間 「本計画の対象期間は、令和8年度から令和17年度までの9年間とし、」とあるが、「令和16年度まで」か「10年間」の間違いでは。	計画期間は第3次総合計画に合わせることとしているため、「本計画の対象期間は、令和8年度から令和16年度までの9年間とし、」に修正いたします。